

## 長野南防犯協会連合会女性部（長野県）

### 活動地域と団体概要



長野南防犯協会連合会の女性部は、長野南警察署の管内である長野県長野市の南部に位置する篠ノ井地区、川中島地区、更北地区、大岡地区、信更地区の5地区で活動しています。近年は、依頼により活動区域外での寸劇による啓発活動も増えています。

団体は、昭和63年10月1日に団体を設立し、38名で活動を開始しました。平成10年2月の長野オリンピック開催時に会場周辺のパトロールを実施するなど防犯ボランティア活動を行い、現在、管内各地区から、各区長が推薦した女性によるボランティア及び長野南防犯協会連合会会長が推薦した女性部経験者の合計163名、平均年齢63歳で構成し、活動しています。

### 活動内容

活動(事業)内容・特長ですが、高齢者対象の振り込め詐欺等防止寸劇は、警察と協力して犯行手口を題材にした寸劇と替え歌を考案し、高齢者のお茶飲みサロンなど各種会合で上演し、被害防止を呼びかけ好評を得ています。上演に際しては社会福祉協議会の協力を得て、お茶飲みサロンでの発表の場を紹介していただいています。いまでは各地区からたくさんの要望があります。平成20年3月から実施しており、活動の頻度は年間平均40回行っています。



自転車盗難防止の活動では、管轄する長野南警察署の刑法犯認知件数の多くを占める自転車盗を抑止するため、管内の主要な駐輪場において、地元高校生との協働により駐輪場の防犯診断、施錠と駐輪を促す防犯シールの添付、駐輪場利用者への防犯指導、駐輪自転車の整頓、駐輪場及びその付近の清掃活動も実施しています。高校生は、不定期な活動と毎月参加の活動があり、参加してくれています。活動頻度は、毎月2回、管内4つある駅の駐輪場で実施しています。



各種犯罪抑止・被害防止広報活動の実施と各種広報啓発物品の考案として、地域安全運動、年末特別警戒のほか、犯罪の発生状況に応じて、駅頭や大型店、地域の催事などにおいて、その都度、季節や情勢に合わせた振り込め詐欺被害防止の各種標語・キャッチフレーズや配布物等を考案し、受け取る人の注目を集め、印象に残る広報を実施することで報道に取り上げられるなど、効果的な活動を行っています。活動頻度は、毎月2回やっています。

特に、年金支給日には地区内金融機関、6ないし10カ所で広報啓発活動をしています。寒い日、暑い日とありますが、みんな良く参加してくれ、よく努力していただいています。



青色防犯パトロール車の導入については、平成18年3月に女性部員の私有車両を青色防犯パトロール車として登録し、各地区1台、合計5台で子どもの見守り活動を行っています。活動頻度は週1回です。

暴力団追放活動への参画については、毎年、暴力団追放大会へ参加するとともに、年末特別警戒に合わせ、ほかのボランティア団体と協働して管内の飲食店を訪問し、暴力団追放活動の意識啓発活動を実施しています。活動頻度は、暴力追放運動1回、年末特別警戒期間中3回です。

次に、お助け隊の結成についてです。平成23年度から、女性部の任期を終えた構成員の中から数名が、退任後も自主的にお助け隊として女性部の活動に応援参加するなどして、女性部を支援しています。





## 活動効果と課題

振り込め詐欺の寸劇は、単なる講話よりも高齢者は特に手口が理解しやすいと好評で、お茶飲みサロンだけではなく、各種会合等でも上演の依頼が多数寄せられている状況です。女性部の地道な寸劇の活動の結果、平成 20 年には 16 件あった振り込め詐欺の件数が、23 年には 6 件と大幅に減少しました。また、自転車盗防止対策、各種犯罪防止・被害防止広報活動および青色防犯パトロール車による活動により、平成 13 年には 676 件あった自転車盗の認知件数が、平成 23 年には 279 件と、大幅に減少しています。平成 15 年には 370 件あった車上ねらいの認知件数も、平成 23 年には 114 件まで減少しました。最近、活動していると地域の方々から「大変ですね。ご苦労様です。」と声をかけていただいております、部員の方の大きな励みになっています。

女性部の構成員の任期は各地区によって異なりますが、多くは 2 年です。任期満了による世代交代の影響を受けないように、寸劇の活動を行う後継者を育てていく必要があると考えています。



## 質疑応答

●質問 女性だけということで、何か怖いこと、危険なことの体験がありましたか。また、任期は 2 年とのことですが、任期を決めて入れ替えみたいなかたちでやっているのですか。

○回答 女性部だけの活動ですので心配な点もありますが、地域の皆さんがとても女性部に対して協力的で助かっています。今まで危険な場面に遭遇したことはありません。任期の件ですが、地域によって、2 年で終わるところと、毎年そのまま継続してやっていただけたところとあります。ちなみに女性部長たちは 16 年になります。続けたいけれども任期が終わってしまい残念だという声を聞き、昨年度からお助け隊を結成しました。やりたい人はそのまま残っていただいて、困ったときには助けていただける制度をつくりました。昨年度 8 名、今年 5 名、入っていただきました。

●質問 このような様々な行事は皆さんがお考えになったのでしょうか。講習会をやったり、専門の方の意見を聴いたり、寸劇などはプロの方に教えてもらったり、警察の方に教えてもらったり、さまざまな苦労をされていると思いますが、その点を具体的に教えていただけますか。

○回答 駐輪場のパトロールについては、平成 13 年に自転車の盗難がすごく増えて、警察から女性部の方々に「何かいい知恵はないでしょうか。」というお話をいただき、駐輪場のパトロールを提案して始めました。寸劇をやると思っていた時も、振り込め詐欺が発生し始めたころで、何か女性部でできることはないかということで始めました。寸劇の内容は、騙しの手口を警察の方から教えてもらい、自分たちで台本をつくりました。今まで数百回寸劇を行っていますので、その都度内容を訂正し、改良しながら行っています。

●質問 女性ばかりですが、男性は何をしているのでしょうか。

○回答 男性もしっかりやっております。防犯指導員という名前で、長野南警察署管内に 600 人が登録し活動しています。また、長野オリンピックのときに立ち上げた「長野南ホワイトエンジェルス」というものが

あります。活動での女性と男性の大きな違いですが、女性は危険な目に遭わないよう、昼間の時間帯をメインにやっています。男性は夕方から暗い時間帯の活動をしていただいています。